

## 「家政研究」終刊に当たって

1969（昭和44）年に「家政研究」の創刊号が発行されて以来30年が過ぎた。その間校舎は旗の台から湘南に移り、家政科の学科内容、授業の形態にも幾度かの変遷がみられた。学生気質も大きく変わり、当然のことながら教員、助手の顔ぶれも交替し時代に対応しつつ家政科は発展を遂げてきた。「家政研究」は諸先輩方の先行的取り組みを基盤にして、今日まで家政科の研究余滴の発表の場として専任、非常勤を問わず多くの人に活用され大きな役割を果たしてきた。

しかしながら本年4月より家政科はライフデザイン学科と科名を変え、学科内容も大幅な改編を迎えるに当たり、これを機会に長年引き継がれてきた「家政研究」を第30号をもって最終巻とすることとなった。諸先輩方、関係各位にはこれまでのご厚情に深く感謝すると同時に、終刊にいたったことのお詫びをさせていただきたい。終わりに際して教員全員がそれぞれの立場から今日の問題を取り上げ小論を寄稿した。前進に向けての記念となれば幸いである。

4月より発足するライフデザイン学科では従来の家政科を土台に福祉分野を拡大し、自立、共生・共立を目指してよりよい人生を築き、幸せな社会を実現することのできる人材養成を目標にしている。今後とも変わらぬご指導をいただければとスタッフ一同心から願っている。

2000（平成12）年3月

家政科科长 川崎 衿子